

3DCGアプリケーション「Shade」の基本操作

提出物：課題内容を印刷したもの・課題内容のデータ (Shade & Illustrator、jpeg)

提出日：2012年11月2日(金) 授業開始時まで

課題内容

授業で作成した「砂時計」のモデリング

授業中に扱った「砂時計」を表面材質まで含めモデリングを行い完成させること。
 ガラスの表面材質をうまく仕上げるコツとして、「拡散反射 + 反射 + 透明 \div 1」になるよう設定を行うときれいな透明な材質が出来ます。

上記内容をレンダリングし、画像データとして保存後、IllustratorにてA4用紙1枚に配置し、印刷して提出。

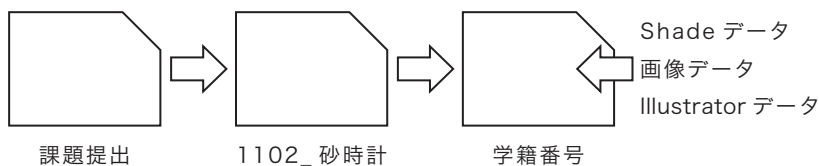
提出方法

上記2点の内容を課題見本のように配置後、印刷したもの、またそのShadeデータ、レンダリングをした画像(.jpg)とその画像を配置したIllustratorデータを提出。

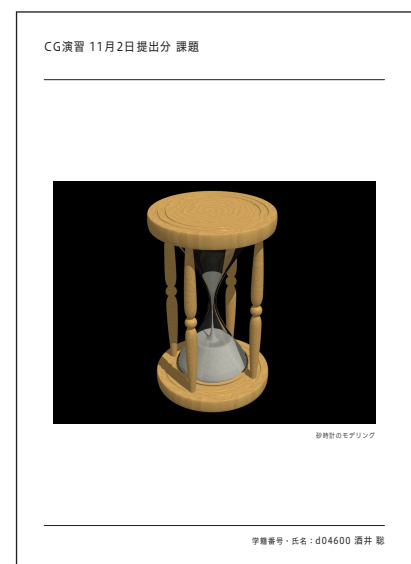
データ：Shadeデータ(.shd) 計1個
 画像データ(.jpg) 計1個
 Illustratorデータ(.ai) 計1個

印刷物：計1枚

画像データ提出先は共有フォルダ内の「課題提出」→「1102_砂時計」内に各学籍番号のフォルダを作成し、その中にデータを提出すること。



課題見本



*課題提出における印刷物は「スーパーファイン用紙」を必ず用いること。
 上記以外の用紙は受理しません。

担当：酒井 聡